

# MU・KU

DIYリフォーム情報誌 vol.11  
2020. Summer



## 人と地球の健康を創るリフォーム

DIY型リノベは、建てる人の意志、住む人の意見で家づくりをすること。無垢の木や自然素材でリフォームするには、住み手の意志(自己責任)で行うことによりクレームリスクもカットできコストダウンにもなる。

施工は専門家をお願いしても、自分でできるところはDIYで行うこともよい。無垢の木を構造材や仕上げ材に使えば居住性が良く、長期にCO2を固定化でき温暖化対策にも貢献する、人と地球にやさしい住まいづくりができる。

DIY型リノベには、借家を住み手の想いでリフォームするDIY型賃貸借と、持家を住み手の意志で行うDIY型リフォームがある。

## Contents

02	【特集】	—コロナ危機とDIY志向—
04	DIYリフォーム情報	天然オイル 左官のすすめ1
05	活躍するDIYリフォームアドバイザー	五十嵐未帆 勝尾 康典
06	ワークショップガイド	カフェ&ベッド うづい通信部
07	Close-up	THK住宅査定システム コラム「アートとデザイン」
08	Topics Information	

## 特集 ■ コロナ危機と「DIY志向」

—今できること・大切なこと—

### 「All By Myself」

コロナ禍冷めやらぬ5月中旬、東京のとある女性から会社にかかってくる電話があった。アメリカ人の知人が北広島町で古民家を買いたいと言っているので住宅診断をしてほしい。しかし彼(Mr.J)は日本語を全く話せない。御社はWEB検索で知った。」とのことでした。

翌週空いた日があったので、一緒に現地に行くことにしました。

会話は片言の英語とLINEの通訳bot。Mr.Jは、デトロイト近辺の田舎出身でヨーロッパ・アジアと渡り歩いて現在、中国の賃貸住宅に住んでいる。Airbnbを使って日本各地を回っていくうちに、コロナで中国に戻れない状況に。そんな時北広島町の古民家を空き家バンクで見つけ、もう既に2回見に行って大変気に入ったのでそこに移住したいと思ったとのこと。そして8月から広島のインターナショナルスクールで先生をすることになっている。電話をした彼女とはインターネットで知り合い、会ったこともない。

話していくと半信半疑となり、仕事ではなく、トモダチとして同行することにしました。

北広島町では、町役場のまちづくり推進課・定住推進係の担当者の女性2人が鍵を開けて待っていてくれました。不動産仲介会社不在…。そこにいたのは買い主以外には私を含め全員(4人)ボランティア。非常に不思議な光景でした。間取りは田の字型で昭和初期のような建物でしたが、1981年のギリギリ旧耐震時期で、思ったよりはるかに築浅の物件でした。母屋・納屋それぞれ2階建てで合計180坪。土地は田を入れると約1000坪。ここに単身33歳の日本語話せないアメリカ人がひとりで住むイメージが全く湧かなかったのですが、本人はお構いなし。長大な地松の小屋梁に極太の檜の大黒柱、そして昭和初期の古民家のような厚鴨居。耐震性能や雨漏りなど問題はあるが状態は良いと伝える前に、もう買う気満々。しかもお湯が出なかったり、お風呂がない、そしてトイレが水洗ではない。それも本人お構いなし。リフォームはどのようにするかと尋ねると、「All By Myself. Yes, "DIY"」

さすがDIYの本場は違いますね。家は自分で直すもの、そして田舎生活は楽しいもの、コロナなんて関係ないと言わんばかりの彼の自由人っぷりは羨ましくも思えました。

ちなみに、永住権のない彼は農地法の関係で「田畑」の購入が叶わず、定借で交渉中です。コラムを読んでいただく頃にMr.Jは北広島町に移住出来ているでしょうか。もし出来ていたら、みんなで180坪の家のDIY手伝いに行きましょう！

住宅デザイン研究所 代表取締役 金堀健一

## 特集

### 暮らしを見つめる

#### 今できること・大切なこと

# コロナ危機と「DIY志向」

新型コロナウイルスの世界的大流行という、とても大きなことが自然界で起きているなかで、私たちの生活は一変しました。ステイホームを強いられたなか、少しでも心地よい暮らしをしたいと頭を悩ませた方も多いはず・・・。

## I. 都市一極集中と新型コロナ

新型コロナウイルスはニューヨークをはじめ東京、ロンドンパリなど世界の大都市で猛威を奮ったようです。大都市は利便性の高い交通や通信などのインフラ整備されており、企業の本社機能が多く集まり経済合理性が高く人口集中は当然の成り行きですが、人口一極集中は強い経済を生むことができる一方、新しい感染症に対する脆さを露呈しました。

経済合理性を追求したグローバル資本主義も世界の経済発展に大きく貢献しましたが、コロナ危機を短時間に世界中に拡大することになってしまいました。パンデミックによる外出制限や営業自粛は不便な生活を強いられるだけでなく世界経済に深い影を落とし、ドイツのメルケル首相は「第2次世界大戦以来の難局」と表現しています。

合理性がもたらす利便性は良いことですが、弊害を生む要素も持っていることを我々に警鐘を与えてくれたのかも知れません。20世紀には、技術革新と化石燃料の大量消費によって、世界の経済は大発展を遂げ、便利で豊かな経済社会となりましたが、二酸化炭素増加に起因する地球温暖化により異常気象を多発させ、生態系までを狂わせるという弊害も生んでいます。

## II. With コロナ時代を生きる

コロナ危機が一段落した後はどのような社会になるのでしょうか？経済合理性の追求による人口の都市一極集中も地球温暖化も、人間の欲望を満たす利便性の追求だと読むこともできるかも知れません。多くの専門家たちは当分の期間、元の便利社会には戻れないのでは？と危惧しています。

これからは、できる限り化石燃料の消費を抑えて地球温暖化を防ぎ、人と地球が健康である持続可能な社会をつくるのが大切です。そのためにも新型コロナなど感染症とは折り合いを付けながら、自然環境とはできるだけ共生するという、ほどほどの不便さを受け入れ、ほどほどの不便さを楽しむという新しい価値観が必要なのかも知れません。

感染拡大防止のためのテレワークやWeb会議などの普及とICT(情報通信技術)の発展は、効率的で便利な大都会で仕事をして暮らすという、これまでのライフスタイルが良いのかどうかを考える機会を与えています。人口の大都市一極集中が感染症や災害リスクとなる側面から、大企業や大学などの地方分散の検討が始まることが予測されます。

### 住まいにおけるゾーニングで生まれる空間

ほどほどの不便さを受け入れ、シンプルに暮らすことで見えてくる暮らしのなかの大切な空間

部分的な間仕切り壁や衝立、壁面アレンジ、コーナー演出など空間をゾーニングすることで生まれる



ライブラリー＆ワークスペース



エクササイズコーナー



ギャラリースペース

### 自然環境との共生

自然に寄り添った暮らしのなかで、ほどほどの手間と時間をかけながら五感を刺激し、感性・知性を磨く

土地ごとの気候・風土にあった暮らし方や知恵から生まれる住文化を大切に



### ほどほどの不便さを楽しむ

ほどほどの不便さがあるからこそ、創意工夫を凝らし暮らしのなかで自己表現を楽しむことができる

本来、人間はからだを「動かすこと」・「つくること」が好き暮らしのなかで、人間に備わっている能力を十分に生かし、健康を育む

「保護すれば弱くなる」は、生物界の大原則である

マスクを外し、素の自分に戻れる唯一の空間「住まい」の大切さ、役割に改めて気づかれたことでしょう。

本来、あるべき「ひとの暮らし」とは、「真の豊かさ」とは・・・これまで効率を優先し急ぎ過ぎた私たちは、ここで立ち止まって暮らしを見つめ直す必要があります。



### III. DIYマインドで暮らしを楽しむ

ステイホームの実践は自宅で自らの工夫で楽しめない人と、自ら愉しみを創れる人では大きな差が生まれているように思います。映画配信やTVゲーム、eスポーツなど受身の娯楽で過ごす人も多かったことでしょう。長い時間にわたりテレビやスマホ、パソコンなどで映画やゲームなどで暮らすと心身にダメージを与えかねません。

一方、何かを自分で創るDo it yourselfは常に何かが進化向上をするものです。DIYは第二次世界大戦後に荒廃したロンドンで元軍人たちが「何でも自分たちでやろう」と街の再建に取り組んだのが始まりといわれています。

ステイホームを強いられたこのコロナ危機は、「自分たちで創る暮らしを楽しみたい」というDIYマインドを育むきっかけになった方も多いのでは?と思われる。片づけをして不要な家具などを処分したり、ちょっとした棚を作ったり、お菓子作りや手料理にこだわるといった、自らの手で日々の暮らしを楽しむことなど。

市販のパンより手づくりパンの方が美味しいこと。既製品に囲まれた暮らしより、手づくりの設えがこころ豊かな暮らしを育む発見などパラダイムシフトが始まっています。

### IV. DIY型リノベをサポートする「DIY木の工房」

新建材でリフォームすると便利で手早く施工できるかも知れませんが、ツルツルピカピカでやすらぎの無い空間になるばかりではなく、将来いつか解体のときには再び大量の産業廃棄物を発生させることになってしまいます。

心地良い空間、手づくり感のある住まいにリフォームしたい場合には、工場量産された既製品(新建材)ではなく、できるだけ無垢の木など自然素材を使いたくなります。こうしたDIY型リノベをサポートするのが「DIY木の工房」と考えています。工房には木材加工のための手押しカンナ盤、自動カンナ盤、帯鋸、角ノミ盤、ボール盤ベルトサンダー、集塵機などを揃え、貸出用の電動工具、左官道具や軽トラなどがあると便利と思います。

ソフト面ではリフォーム設計・デザイン支援や専門職人、DIYリフォームアドバイザーなどの派遣、ワークショップの開催などDIY型リノベを総合的に支援するシステムづくりが必要です。

これからは、大都市一極集中の分散化が重要課題となると思われ、地方都市周辺の中山間地などの空家を活用した二拠点居住やサテライトオフィス、ワーケーション:「WorkとVacationの造語」などの需要がますます高まっていくことが予想されますので、各地にDIY工房ができるとDIYリフォームアドバイザーが活躍する環境が整い、空き家の利活用が促進できるのではないかと考えています。

(金堀一郎)

#### ■ DIYマインドで、暮らしが変わる

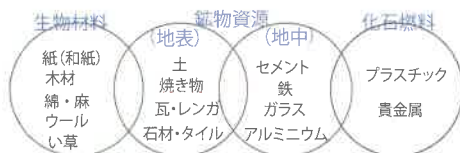
— 自ら創る・愉しむ暮らしに —

.....  
 ちょっとした棚を作る、置台をつくる...  
 ほんの少し作るから、暮らしが変わる  
 .....

- I. つくる・変える — 生活空間
- II. 変える・気づく — 暮らしの習慣
- III. 気づく・変わる — 美意識
- IV. 変わる・創る — 愉しむ暮らし

#### ■ 自然素材を暮らしに

便利さ・コスト・生産性が良い / 新建材

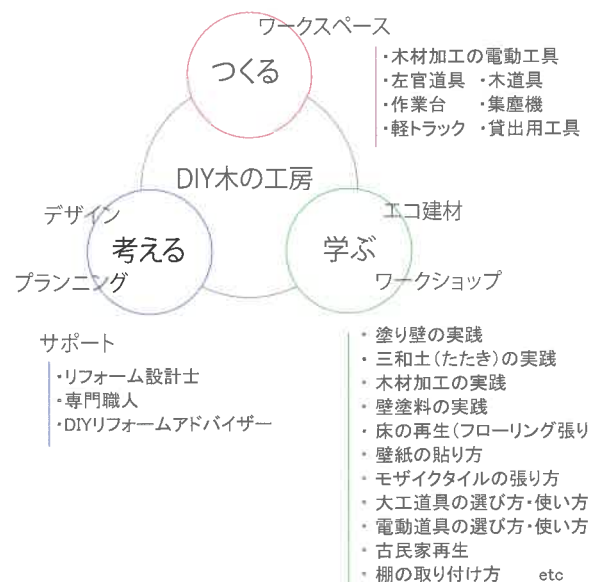


天然素材 / 人と環境にやさしい・心地良い

材料と人間との距離による分類

#### ■ DIY木の工房

- ・DIY型リノベをサポートする場
- ・DIYリフォームアドバイザーが活躍する場
- ・DIYリノベに関する情報交換・交流の場



無垢床材の仕上げ塗料

木の呼吸を妨げない 天然オイル

無垢フローリングの仕上げには、植物由来の浸透性自然塗料がおすすめです。  
木材の内部に深く浸透することによって、無垢床の表面に塗膜をつくらず、木のもつ魅力を引き出します。  
また、日々の暮らしのなかで定期的にメンテナンスすることにより味わいが増していきます。

おすすめの自然塗料

木の魅力を引き出す天然オイル

- ・「木の呼吸」を妨げない  
水分の吸収と放出を繰り返し、湿度バランスを調整
- ・木の心地よさを存分に引き出す  
木目・木の香り(ワイルド)・冬暖かく夏涼しい柔らかな肌ざわり
- ・キズ、凹み、シミの修復が可能である  
凹み部分に、よく絞った雑巾を当てアイロンをかけると修復  
シミは、細かいサンドペーパーで磨き、ウエス(布)にオイル  
をしみこませて磨く
- ・日々のお手入れ(布でカラ拭き)経年変化を楽しむことができる  
仕上げ後、半年位経って再度、オイルを塗ることでしっとり感が増す
- ・植物由来の自然塗料であり、有害物質を含まないので安全

オスモカラー  
(ドイツ製)



化学物質を一切含まず、食品  
と同レベルの安全性を誇る  
自然塗料

アウロ  
(ドイツ製)



国際オーガニック認証を取  
得のAURO社。植物原料は  
契約農家で無農薬栽培

リボス  
(ドイツ製)



塗料の成分を100%成分開示  
アレルギーに対応した塗料の  
開発にも成功

ボナ  
(スウェーデン製)



植物油(大豆油)を主成分  
とした屋内木部用の保護  
塗料

いろは  
(日本製)



日本古来の天然顔料「ベンガ  
ラ」から生まれる色にこだわる。  
桐油や蜜ろうなどを原料として配合

ユーオイル  
(日本製)



亜麻仁油、天然顔料等の自  
然素材を活用し、臭いを徹  
底的に抑えた塗料

比べてみよう 塗膜をつくるウレタン仕上げ

複合フローリング材には、ウレタン塗装を施したものが多い。  
表面に塗膜を張るポリウレタンは、耐摩耗性、防汚性に優れているが  
木のもつ材質感は感じにくい。キズがついても修復できないため、傷  
んだら張り替えとなることが多い。  
定期的にクリーナー、ワックス掛けが必要。

左官  
の  
すすめ

第1回 左官職人が行う DIY 型リノベ

「DIY 型リノベを仕事にすること」  
金澤 萌

金澤 萌 プロフィール

1983年生まれ。ものづくり大学を卒業  
後(有)原田左官工業所に入社。小林左  
官工業所を経て、2013年にmarumo  
工房として独立。広島県廿日市市と  
埼玉県草加市の2拠点で活動



私が左官に出会ったのは、ものづくり大学の授業です。  
壁を平らに塗ることはとても難しかった一方、鏝(コテ)で模  
様を付けながら壁を塗ることがとても楽しかった。壁を塗る  
難しさで塗った人の個性が壁に出る。その作業の面白さに  
魅力を感じ、卒業後は左官の道へ進みました。

私は「左官を身近なモノへ…」を目指して活動しています。左官は昔からある技術にも関わらず知ら  
ない人が多くいます。左官を知ってもらうためには、左官作業を気軽に楽しんでもらうことが必要と  
考え、左官のDIY型リノベーションを始めました。プロと一緒に作業をすることで、DIY左官を取り入れ  
るハードルが下がり、その現場にあった施工手順を踏むことができます。DIY左官の場が増えることで  
左官を知るきっかけにもなります。また、DIY左官に挑戦することで、左官の技術のすばらしさ、難しさを  
理解してもらえ、プロに任せるところとDIYとの住み分けもできます。

今ではDIY型リノベで施工した現場が100件を超えました。どの現場も、ご家族やお友達と一緒に楽し  
みながら左官作業をしている様子がとても印象的です。皆さんもDIY型リノベーションに左官作業を取  
り入れ、一緒に左官を楽しみませんか？

※次回は、「左官材料の選び方」です





女性不動産投資家&女性大家さんのための交流会「Elegant Owners」を主宰されている五十嵐さん。DIYリフォームアドバイザーとして、ファイナンシャルプランナーとしてもご活躍です。

リフォームを自分でできるようになりたい DIYリフォームアドバイザー 五十嵐 未帆

### 資格取得の目的

主宰している女性大家さんの会で会員様のDIYに対するニーズが高まっていて、今まで築古リノベで成功している不動産投資家やリノベーションデザイナーのセミナー、またDIY賃貸セミナーや床キズ補修ワークショップ、築古戸建ペイント体験会などを開催させていただきました。その中で、原状回復・リフォームを自分でできるようになりたい、新築を建てるときの建築や建材の知識を身に付けたい、将来的に大規模リノベーションで素敵な物件を作るためにDIYできるようになりたいと思い、DIYリフォームアドバイザー資格認定講座を受講させていただきました。

受講したことでリノベーションのいろいろな方法を知ることができ、賃貸経営にも役立つ知識を得られたと感じています。

### DIYリフォームの魅力

自分の好きなようにできる、住まいに対して便利な工夫ができる、他の人にやってもらうより自分の気持ちを込めることができるのが魅力ですね。何かあっても自分で直せる、そういう技術を身につけておくことは賃貸経営だけでなく一生涯役に立つと思います。



床キズ補修ワークショップ

### これからの課題展望

DIYを実践して技術を習得し、DIYリフォームアドバイザーで学んだことを生かして大規模修繕に取り組み、ここだから住みたいと思ってもらえるような物件づくりをしたいと考えています。また、自分が学んだことを主宰している女性大家さんの会の皆様にお伝えしたり、会の皆様がDIYやリノベーションするときには積極的に参加し、役に立てるようになりたいです。

今後は単なるリフォームだけでなく、住まいと生活を便利、快適にするDIYを実践しながら学びたいです。

### 家にいる時間が多くなっている状況下でのDIYについて

コロナ禍で家にいる時間が多くなり、自分らしい生活や住まいを考える方、住まいを快適にするためにDIYに取り組む方が増えたと感じています。私もこれからは、DIYリフォームアドバイザーでの学びを生かして、住まいを大切に考える方に選ばれる物件づくりをしたいです。(寄稿)



7棟の賃貸物件を所有  
女性不動産投資家・女性大家さんのための交流会「エレガントオーナーズ」主宰  
ファイナンシャルプランナーCFP

2018年の「田舎リノベスクールin邑南町」に参加、実際に空き家の利活用に取り組みされました。

人生 100 年時代の COVID-19<sup>\*</sup>後の暮らし方 DIYリフォームアドバイザー 勝尾 康典



### シェアオフィス「ひととば津山」

岡山県津山市で築 70 年以上の住宅をリノベーションしてシェアオフィス「ひととば津山」を運営しました。小さなビジネスを応援するため空き家でのコンテンツの開発を行っています。珈琲の町津山を広めるために珈琲教室、チョコレート教室、シェア焙煎機、ミニシアターマルシェなどを定期的に開催しています。



### 築30年以上の住宅を改修

DIYリフォームアドバイザーの知識を活かした改修の見極めとDIYリノベーションをしました。築30年以上の住宅を改修するためには、どれだけ費用を抑えることができるかの判断する必要があります。「ひととば津山」の場合、雨漏りがあり最初諦めていましたが、オーナーとの話し合いで屋根の修理を負担してくれることになり、前へ進むことになりました。そして、リノベーションするために専門的な知識とDIYが難しい水回りがどうなのかが重要で、幸いお風呂は利用しないことにし、トイレや洗面台などは手を加える必要が無かったことが最終的な決め手になりました。その代わりに台所はシェアキッチンにできるようにDIY改修することにしました。他にもワークショップとして、漆喰の壁塗り、床のフローリング張り、壁紙張り、黒板とホワイトボードの製作などDIYにより仕上げました。しかし、コロナウイルス感染拡大により、「ひととば津山」の在り方も変わり定期的にイベントを開催していましたが、2か月以上活動が停止してしまいました。



### 人生100年時代に向けて

人生 100 年時代に向けてオンラインの活用が不可欠になってきました。そして、都会だけでなくどこにいても仕事ができる時代に突入します。空き家そのものの活用としては、近距離の二拠点居住として家族は近距離の田舎に暮らし週末は家族が集まったり、出勤しなくても仕事ができるスタイルの暮らし方の提案を始めました。さらに、子供たちにシェアオフィスを開放してプログラミングやWEBマーケティングが学べる寺子屋に力をいれたいこうと計画しています。これからも誰も創造していなかった暮らし方を提案していきます。(寄稿)



3年前に会社を退職後  
宅地建物取引士WEBプランナーとして  
空き家の活用とビジネスモデルの構築と  
ホームページを製作

\* COVID-19：新型コロナウイルス

## DIY型リフォーム ワークショップ

## DIY型リフォームで空き家の利活用

昨年8月～11月にかけて開催した島根県邑南町「おおなんDIY木の学校」の実習の場にもなった元診療所「旧服部医院」がこの度、カフェ兼宿泊施設として開業することになりました。オーナー店主の井上英司さんに、空き家がカフェ & 宿泊施設に生まれ変わる過程をお聞きました。

築95年で30年以上空き家だった  
旧診療所

## きっかけ

もともと、廃止になった旧JR三江線「宇都井駅」の近くにあった、町民や観光客などが集まる場所「うづい通信部」がなくなったため、場所を探していたところ、旧服部医院が老朽化のため解体を考えていることを知り、借りることを申し出ました。



天空の駅「宇都井駅」

クラウドファンディングで改修費を集める 改修費300万円余りが集まりました。

おおなんDIY木の学校で実習の場として提供



before



after

邑南町による関係人口増加のための補助事業の一環に協力しました。「おおなんDIY木の学校」の専門科目実習の場として提供、参加者が各科目ごとにアドバイスを受けながらDIY実践で改修しました。

## 大変だったこと

たくさんの参加者の方にDIYリフォーム実践していただき、各パーツは改修したものの全体を監修・アドバイスしてくれる人材がいませんでした。しかし知り合いの大工さんが仕事の合間に手伝ってくれたので、完成にこぎつけました。防火や店舗に関する基準など全体的に責任を持って進めてくれるDIYリフォームアドバイザーが必要だと思いました。

## 嬉しかったこと

オープンして間もないですが、県外からも来られてゆったりした時間を過ごしていただいています。地域の良さを知って、みんなが交流できる場所になってほしいです。

カフェ&ベッドうづい通信部  
として再生!

- カフェ 土・日・祝 11:00～16:00 ※食べ物の持ち込み可
- 夜営業 土・祝前日 18:00～21:00 ※前日までに電話問い合わせ
- ゲストハウス 随時 ※2日前までに電話問い合わせ

島根県邑智郡邑南町宇都井1067-1  
予約・問い合わせ 090-7127-4334 (井上)



## 次回 Work shop

テーマ

2020年7月4日(土) 13:00～16:30

場 所：名古屋モザイク工業(株) 広島ショールーム  
参加費：3000円(材料費込み)  
定 員：8名(先着順)

## 「モザイクタイルの張り方」PART II

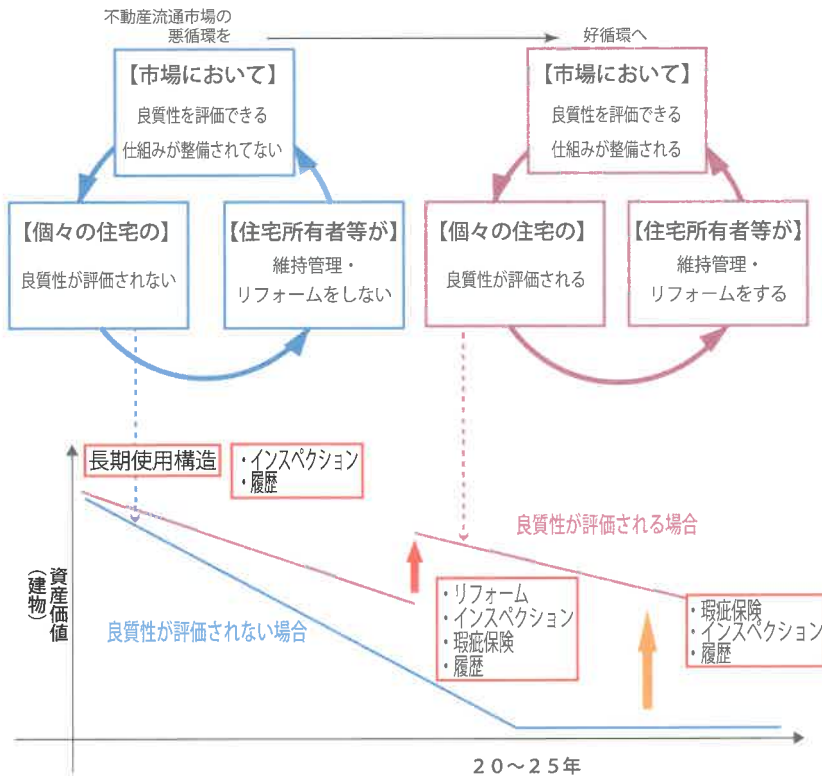
壁面にモザイクタイルを張る手順や施工方法をインストラクターの指導を受けながら学びます。柱型のコーナーの張り方、割り付けなどのコツを体得しましょう。



# Close-up

国土交通省補助事業から生まれた

## 良質な既存住宅の価値を適正に査定評価する「THK住宅査定システム」



現在、木造住宅は建築時から20年~25年経つと市場価値はほとんどがゼロ査定評価となり、良質な住宅であっても適正に評価されず、既存住宅の流通を阻害する大きな要因となっています。(左図参照)

そこで“既存の査定方法より合理的に、売主・買主により分かりやすく”というコンセプトで開発されたのが『THK住宅査定システム』。良質な既存住宅の適正な流通に貢献します。

- <システムの主な特徴>
- ①的確(T)で標準性(H)を有し、公正(K)な評価・価格を算出
  - ②リフォーム内容を適切な価格に反映させている

このシステムを使って、査定・評価する人材として「住宅査定士」資格認定制度ができました。詳しくは下記サイトで。

「THK住宅査定システム」「住宅査定士」についての詳しいお問い合わせは

一般社団法人建物評価研究機構 (THKK)

<https://tateken.site/>

## column

Art ガレのランプ  
フランスのガラス芸術家  
エミール・ガレのアルヌー  
ヴォ様式をとり入れたランプ



### コラム シリーズ1 アートとデザイン

金堀 一郎



Design Yチェア  
1950年にハンス・J・ウェグナー  
によってデザインされた北欧  
デンマーク生まれの名作イス

アート (art) という概念は美的価値を創造・表現しようとする人間の活動で太古からありましたが、今日のデザイン (design) の概念は100年前の1919年にドイツに設立された芸術と技術の融合を目指したデザイン学校「バウハウス (Bauhaus)」によって生まれたと解釈するのが正しいと思います。

レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」(1498年)、ミケランジェロのシステーナ礼拝堂 (バチカン宮殿内) 天井フレスコ画 (1508年) などルネッサンス期のアートも現存しています。アートは経済活動が目的ではないので、こうした歴史に残る大作を創る芸術家には長い年月と費用が掛かります。ゆえに経済的な支援を与えるパトロンが存在が欠かせません。レオナルド・ダ・ヴィンチにはスフォルツァ公、ミケランジェロにはメディチ家がパトロンであったといわれています。

一方、今使われているデザインの概念はどうでしょう。ファッションデザイン、車のデザイン、家具デザイン、インテリアデザイン、建築デザイン、都市デザイン、環境デザインなど幅広い分野でデザインという言葉が使われています。最近では、話題になっている持続化給付金の政府委託先推進協議会のサービスデザイン (1991年にドイツのケルン国際美術大学の Michael Erilhoff 教授によってデザイン分野として初めて紹介) という分野もあります。

その昔、デザインは下絵、図案、意匠と広辞苑で解説していますが、バウハウス以降にデザインの表す意味は時代とともに変わってきています。優秀なデザイナーにはスポンサーが付くものです。それはデザインが経済を活性化させる要素を持っているからです。DIY型リノベもデザインの付加価値によって、その価値・魅力が大きく変わると考えられます。

# Topics

## 全国古民家再生協会との連携協定による 第2回 特別講座を開催

一般社団法人住環境教育協会は、古民家鑑定士を会員にもつ一般社団法人全国古民家再生協会と連携協定を締結しています。

今年2月に引き続き、2回目となるDIYリフォームアドバイザー＆DIYマイスター特別講座を、6月15日・16日に開催しました。

DIYを通じて、空き家の活性化を図り、関係人口の増加をめざす担い手として、これからの活躍が期待されます。



## DIYリフォームアドバイザー 在宅講座

ご自宅において、会場LIVE講座と同じ内容・受講料でDIYリフォームの知識を学ぶことができます。ぜひ、お知り合いの方にご紹介ください。

DIYリフォームアドバイザーの在宅講座は2種類があります。

- ① DVDにて受講できるコース
- ② web上で受講できるコース

※PCまたはスマートフォンなど



DVD受講



Web受講

DIYリフォーム入門講座  
¥19,800

DIYリフォーム資格認定講座  
¥37,800

### 【受講メリット】

- ① 自分のライフスタイルに合わせて学習できる
- ② DVDとテキストにより、DIY型リフォームの知識を繰り返し立体的に学習できる
- ③ 全体を俯瞰しながら部分を学習できる

## DIYリフォームアドバイザー資格認定講座

広島で7回目となるDIYリフォームアドバイザー資格認定講座を開催します。

広島会場

資格認定講座 9月9日(水) 9:30~16:30

### カリキュラム

- ① DIY型リフォーム&DIY型賃貸借
- ② 工具・道具の基礎知識
- ③ DIY型リノベの材料とDIY基礎
- ④ 実践とメンテナンス
- ⑤ 認定試験

### 受験資格

建築士(一級・二級・木造建築士)  
建築施工管理技士(1級・2級)  
宅地建物取引士  
インテリアコーディネーター  
インテリアプランナー  
キッチンベテラン  
福祉住環境コーディネーター  
賃貸不動産経営管理士  
古民家鑑定士、入門講座修了者

上記の住関連資格をお持ちでない方は、DIYリフォーム入門講座を受けることで資格認定講座の受験資格が得られます

入門講座 9月5日(土) 10:00~16:00

会場：NPO法人住環境デザイン協会(広島市中区大手町2-5-11 6F) ※9/5・9/9両日

DIYリフォームアドバイザー  
資格認定講座公式テキスト



トソー出版  
書店でも購入できます

お問い合わせ  
お申込み



住環境教育協会

## DIYリノベ事例 #1

## 縁側デッキ

《DIYリフォームアドバイザー 広瀬洋一さん》

構想数年、作業は実質約6日。きっかけは長いステイホーム期間でした。作るプロセスも楽しみながらDIYしています。



### Point

- ・プレカット&塗装済部材をオーダー・宅配で時短
- ・屋根を中空ポリカで貼り、強度と明るさを確保

資格者の皆さんが実際にDIYでつくられた事例を募集しています。ご協力して頂ける方は下記のメールアドレスにご連絡ください。皆様のDIYリノベの実例をお待ちしております。

お送り先 住環境教育協会 info@juu-kyoiku.com

## Information

### 表紙画像



### 木と鉄の小物入

小物からマンションリノベまでを守備範囲とするDIYリフォームアドバイザー 児玉昌之さん(アトリエこだま 主宰)の作品。櫛の細工もアイアンの表情もいい。木と鉄は相性が良くデザインの幅が広がる素材と思う。(k)

DIYリフォーム情報誌「MU-KU」では、DIYリフォームに関する情報をお待ちしております。

問い合わせ先・お送り先  
info@juu-kyoiku.com

MU・KU  
DIYリフォーム情報誌 Vol. 11  
2020. Summer  
2020年7月1日発行(年4回発行)  
発行人 若菜 幸子  
編集 吉田 恵子

<発行> 一般社団法人 住環境教育協会

広島市中区大手町2-5-11  
NPO法人住環境デザイン協会内 〒730-0051  
TEL 082-241-5707 e-mail info@juu-kyoiku.com  
FAX 082-241-5645 URL www.juu-kyoiku.com

定価 300円(税別)